



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 東京製綱株式会社 上場取引所 東
コード番号 5981 URL <https://www.tokyorope.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 原田英幸
問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員総務部長（氏名） 喜旦康司（TEL） 03-6366-7777
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月9日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	30,360	1.9	1,413	20.7	1,680	23.7	1,726	37.9
2025年3月期中間期	29,788	△2.6	1,170	△1.2	1,358	△5.5	1,251	23.0

（注）包括利益 2026年3月期中間期 2,010百万円（ 14.3%） 2025年3月期中間期 1,759百万円（ △31.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	110.73	—
2025年3月期中間期	79.18	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	87,003	37,709	43.3
2025年3月期	87,369	36,685	42.0

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 37,709百万円 2025年3月期 36,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	64.00	64.00
2026年3月期	—	25.00			
2026年3月期（予想）			—	40.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	1.8	4,000	11.6	3,900	0.6	3,200	△1.5	202.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	16,268,242株	2025年3月期	16,268,242株
2026年3月期中間期	661,625株	2025年3月期	676,063株
2026年3月期中間期	15,594,535株	2025年3月期中間期	15,811,300株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員向け株式交付信託が所有する当社株式 (2026年3月期中間期: 126,100株) を含めております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 (添付資料) 3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、2025年11月14日に機関投資家向け説明会をライブ配信で開催する予定です。その模様及び説明内容 (音声) につきましては、当日使用する決算説明会資料とともに、後日当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社グループの売上高は、鋼索鋼線関連およびスチールコード関連での販売数量の減少に伴い売上が減少したものの、開発製品関連の売上が増加したことにより、30,360百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

利益面においては、増収効果に加え、操業コストの低減などに努めるとともに、諸資材・人件費等を含む物価上昇に対応した製品価格改定が進み、営業利益は1,413百万円（前年同期比20.7%増）、経常利益は1,680百万円（前年同期比23.7%増）となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、投資有価証券売却益の増加等が寄与し、1,726百万円（前年同期比37.9%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

（鋼索鋼線関連）

鋼索製品において価格改定前の駆け込み需要があった前年同期に対して当期の販売数量が減少したことにより、当セグメントの売上高は14,007百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は1,058百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

（スチールコード関連）

タイヤ用スチールコードにおいて一部海外製品の参入により販売数量が減少した影響で、当セグメントの売上高は2,403百万円（前年同期比17.5%減）となりました。利益面では、操業改善によるコストダウンに努めたものの、減収による影響が大きく、営業損失は301百万円（前年同期は39百万円の営業損失）となりました。

（開発製品関連）

国内外でのC F C C事業のプロジェクトが進行し、売上が増加した結果、当セグメントの売上高は8,672百万円（前年同期比16.3%増）、営業利益は425百万円（前年同期は172百万円の営業損失）となりました。

（産業機械関連）

産業機械事業の売上が増加し、当セグメントの売上高は2,084百万円（前年同期比14.2%増）、営業利益は81百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

（エネルギー不動産関連）

石油・ガス類の売上が増加し、当セグメントの売上高は3,192百万円（前年同期比2.8%増）となりました。利益面では、主に商業施設の修繕費が増加したことから、営業利益は148百万円（前年同期比22.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当中間連結会計期間末の総資産は、株価の変動等により投資有価証券が増加したものの、棚卸資産の減少や現金及び預金の減少により、前連結会計年度末と比べ366百万円減少の87,003百万円となりました。

負債については借入金の減少により、前連結会計年度末と比べ1,389百万円減少の49,294百万円となりました。

純資産については、前連結会計年度に係る株主配当金の支払があったものの、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による利益剰余金の増加により、前連結会計年度末と比べ1,023百万円増加の37,709百万円となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ816百万円減少し、5,146百万円になっております。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益を計上し、棚卸資産の減少、減価償却費の影響により、1,850百万円の収入（前年同期は1,151百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、保有する投資有価証券の売却による収入がありましたが、有形固定資産の取得による支出により、348百万円の支出（前年同期は614百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払い等により、2,049百万円の支出（前年同期は116百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日決算発表時に公表しました予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,972	5,156
受取手形、売掛金及び契約資産	13,212	13,433
電子記録債権	2,564	2,806
商品及び製品	7,781	6,885
仕掛品	4,573	4,824
原材料及び貯蔵品	5,311	5,300
その他	1,256	1,441
貸倒引当金	△162	△162
流動資産合計	40,509	39,685
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,521	6,320
機械装置及び運搬具(純額)	4,246	4,108
土地	17,510	17,503
リース資産(純額)	749	698
建設仮勘定	280	312
その他(純額)	532	494
有形固定資産合計	29,840	29,437
無形固定資産	433	383
投資その他の資産		
投資有価証券	7,177	8,773
退職給付に係る資産	1,942	1,970
繰延税金資産	2,802	2,209
その他	4,706	4,586
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	16,585	17,496
固定資産合計	46,859	47,317
資産合計	87,369	87,003

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,989	6,848
電子記録債務	2,636	2,754
短期借入金	18,426	17,684
未払費用	2,501	2,448
賞与引当金	1,113	1,090
その他	3,104	2,892
流動負債合計	34,771	33,719
固定負債		
長期借入金	5,243	5,013
リース債務	727	677
再評価に係る繰延税金負債	4,034	4,034
役員退職慰労引当金	148	137
役員株式給付引当金	3	3
退職給付に係る負債	4,645	4,577
資産除去債務	591	644
その他	517	484
固定負債合計	15,912	15,574
負債合計	50,683	49,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	1,064	1,066
利益剰余金	21,180	21,900
自己株式	△929	△911
株主資本合計	22,315	23,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,118	3,423
繰延ヘッジ損益	△0	△2
土地再評価差額金	8,948	8,948
為替換算調整勘定	3,958	2,879
退職給付に係る調整累計額	△654	△594
その他の包括利益累計額合計	14,370	14,653
純資産合計	36,685	37,709
負債純資産合計	87,369	87,003

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4月 1日 至 2025年 9月30日)
売上高	29,788	30,360
売上原価	23,508	23,807
売上総利益	6,280	6,552
販売費及び一般管理費	5,109	5,139
営業利益	1,170	1,413
営業外収益		
受取利息	31	17
受取配当金	200	211
為替差益	—	12
持分法による投資利益	225	198
その他	99	107
営業外収益合計	556	547
営業外費用		
支払利息	117	205
為替差損	78	—
その他	172	74
営業外費用合計	368	280
経常利益	1,358	1,680
特別利益		
投資有価証券売却益	172	311
為替換算調整勘定取崩益	—	129
特別利益合計	172	440
特別損失		
減損損失	7	142
関係会社出資金評価損	19	—
特別損失合計	26	142
税金等調整前中間純利益	1,504	1,979
法人税等	252	252
中間純利益	1,251	1,726
親会社株主に帰属する中間純利益	1,251	1,726

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,251	1,726
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△935	1,304
繰延ヘッジ損益	△1	△2
為替換算調整勘定	1,064	△802
退職給付に係る調整額	25	59
持分法適用会社に対する持分相当額	353	△276
その他の包括利益合計	507	283
中間包括利益	1,759	2,010
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,759	2,010

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,504	1,979
減価償却費	933	898
減損損失	7	142
貸倒引当金の増減額(△は減少)	32	△0
持分法による投資損益(△は益)	△225	△198
関係会社出資金評価損	19	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△54	△31
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	46	1
支払利息	117	205
受取利息及び受取配当金	△232	△229
投資有価証券売却損益(△は益)	△172	△311
売上債権の増減額(△は増加)	1,437	△493
棚卸資産の増減額(△は増加)	△210	436
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,399	△2
未払消費税等の増減額(△は減少)	△316	△94
その他の資産の増減額(△は増加)	△157	△104
その他の負債の増減額(△は減少)	113	△91
その他	△27	△10
小計	1,416	2,095
利息及び配当金の受取額	224	229
利息の支払額	△118	△186
法人税等の支払額	△371	△287
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,151	1,850
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△6	△13
投資有価証券の売却による収入	206	619
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	0	0
有形固定資産の取得による支出	△761	△944
その他	△52	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△614	△348
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,385	138
長期借入れによる収入	5,200	—
長期借入金の返済による支出	△6,037	△1,109
配当金の支払額	△633	△999
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△30	△78
財務活動によるキャッシュ・フロー	△116	△2,049
現金及び現金同等物に係る換算差額	408	△324
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	828	△872
現金及び現金同等物の期首残高	4,939	5,962
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	55
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,768	5,146

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計	調整額	中間 連結損益 計算書 計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	産業機械 関連	エネルギー 不動産関連			
売上高								
外部顧客への売上高	14,488	2,912	7,457	1,824	3,105	29,788	—	29,788
セグメント間の内部 売上高又は振替高	258	129	1	60	263	714	△714	—
計	14,747	3,042	7,458	1,885	3,368	30,503	△714	29,788
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,110	△39	△172	80	191	1,170	—	1,170

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計	調整額	中間 連結損益 計算書 計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	産業機械 関連	エネルギー 不動産関連			
売上高								
外部顧客への売上高	14,007	2,403	8,672	2,084	3,192	30,360	—	30,360
セグメント間の内部 売上高又は振替高	199	96	32	60	234	623	△623	—
計	14,207	2,499	8,705	2,144	3,426	30,983	△623	30,360
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,058	△301	425	81	148	1,413	—	1,413

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「鋼索鋼線関連事業」、「スチールコード関連事業」及び「開発製品関連事業」セグメントにおいて、将来の使用が見込めなくなった遊休資産及び営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなる見込みの資産グループについて、その帳簿価額を回収可能価額まで減額し、「鋼索鋼線関連事業」25百万円、「スチールコード関連事業」112百万円、「開発製品関連事業」4百万円を減損損失として特別損失に計上しております。